

て、だれも思っていない。それで、どんな勉強をしているのか聞いてみました。清作は、

「それは、授業時間中、先生の話を注意して聞くことが勉強なのだ。きょう習ったことは、きょうのうちに覚えてしまうことだ。ぼくは、授業時間が、一番大切なんだ。」

と、答えたそうです。しかし、それだけではありません。清作は、いろいろな本を読み勉強しました。こんなこともありました。

村役場にある「日本外史にほんがし」という本を、読ませてもらうことになりました。

清作は、夢中になって読んでいるうちに、暗くなり読めなくなったので、ろうそくを持ち出し、押し入れおしいにかくれ、一晩中本を読んでいたのです。また、どりの宿屋の風呂ふろたきを手伝い、その明あかりで本を読んだりしました。このように、熱中するところでも、明かりをみつけ勉強しました。